



The Rotary club of Kobe East **BULLETIN**



神戸東ロータリークラブ会報

No.399 2023-2024 No.1

表紙絵：太原 震也元会員



CREATE HOPE
in the WORLD

会長／樋口 一哉 副会長／吉田 博 幹事／和田 真一
広報委員長／村井 通浩 副委員長／石橋 恒生
例会場：ホテルオークラ神戸 例会曜日：毎週火曜日



クラブ会長テーマ **WORK HARD FOR THE FUTURE**
“未来に向けてがんばろう”





2023-24 年度 神戸東ロータリークラブ

第70代会長
理事 樋口 一哉

神戸東ロータリークラブは70年前の1954年4月12日に国際ロータリーから認証を受け以来70年に渡りロータリー活動を続けて参りました。先輩方に感謝し伝統を守りつつ、発展させていきたいと思えます。会長方針ですが、昨年の国際ロータリーの標語は、IMAGINE ROTARY ロータリーについて考えようで、今年は、CREATE HOPE IN THE WORLD 希望を見つけようです。安行ガバナーは、ACT with Integrity Serve with Love Work for Peace 真心の行動、慈悲の奉仕、平和に貢献とされました。

私は、ロータリーについて考え、希望を見つけ、そして、実行しようと考え、WORK HARD FOR THE FUTURE 未来に向けてがんばろう！としました。

当クラブが重視してきた職業奉仕を実践し、職業倫理を順守し、良い仕事をして社会に貢献し、個人、団体に関わらず、社会奉仕をしましょう。人が喜ぶのを見ると、自分も嬉しくなります。親睦をしよう、仲良くなり、お互いを思いやり、利他の心で、出会いの輪を広げましょう。ロータリーでの出会いは大

きなチャンスです。みんなで70周年をお祝いしましょう。これから、創立75周年、100周年に向けて、神戸東ロータリークラブがますます繁栄出来るように、みんなで知恵を出し合ひましょう。

スタートダッシュで、7月29日に第26回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭のホストをします。

神戸東ロータリークラブ一丸となって全国のロータリアンをお世話させて頂き、知り合いになり、楽しみましょう。70周年の記念事業として、神戸東ロータリークラブとして全国からのロータリアンをお迎えいたしたく存じます。皆様のご協力よろしくお祈いします。

8月末には、第1回目の親睦会を予定しています。最近新入会の方も多いので、新旧大いに親睦しましょう。9月には、ハワイでホスピスボランティアの研修があり、ホノルルRCと交流会があります。ずっと延期されてきました、是非成功させたいものです。10月または、11月家族旅行として、有馬温泉で1泊予定しています。丁度70年前有馬でチャーターナイトがありました。チャーターナイトに負けないくらい盛り上がりたいと思えます。

是非ご参加ください。11月20日には、昨年続き、kobe っこ親善ラグビー大会があります。

11月、12月には恒例の招待ボウリングがあります。コロナ下で中止、縮小開催になっていましたが、今年から希望者全員参加になります。子供たちの笑顔が忘れられません。

昨年好評だった外国人学校の音楽祭ですが、2年に1度の開催になりそうです。

是非継続いたしたく存じます。次年度での対応よろしくお祈いします。

12月20日には、忘年家族会で年末、盛り上がり、年明け1月9日には、合同例会で新年をお祝いしたいと思います。また、今年は、三東会の幹事クラブになっております。

2月に、神戸で、京都東RC、大阪東RCの皆様を全員でお迎えし、交流したいと思います。

3月は、地区大会です、新しい会員の方も多いで、是非、参加お願いします。

地区大会に参加するとロータリーがどこから来て、今後どの方向に向かうか分かります。来年4月9日には、70周年記念式典を行います。ガバナー始め、近隣のRCの方々もお呼びして、お祝いしたいと思います。さらに、4月には米山奨学生をお迎えしたいと思います。それから、一番大事なことを忘れていました。会員増強と維持です。どうしても色んな理由で毎年退会者が出ます。新入会員を増やして活力を維持すると共に会員皆様の満足度を向上させる必要があります。また、せっかく女性会員が生まれていますので、是非女性会員を増やし

より一層楽しいクラブライフを送りたいものです。

私事になりますが、約40年前神戸東RCによって設立された神戸東ローターアクトクラブに、大学生の時所属していました。リーダーシップ養成を主眼とし、奉仕、懇親を中心とした学生のクラブで様々な経験をさせて頂きました。また、RYLAセミナーも受講させて頂きました。当時は、夢の様な紳士の神戸東ロータリークラブに憧れていました。いつかは、この様な社交クラブに入れたらと思っていた神戸東ロータリークラブに入会させて頂き今回会長就任という名誉を頂き心から感謝しています。微力ながら神戸東ロータリークラブのため全力で頑張りたいと思います。70周年の年を神戸東ロータリークラブ一丸となって乗り切りたいと思います。皆様、よろしく願いいたします。





副会長
理事
クラブ管理運営委員長
吉田 博

今般副会長に就任致しました吉田博です。

副会長の具体的な役割でございますが、会長からは「閉会の辞」の担当となりますよとアドバイスを受けておりましたので、過去の副会長さんの「閉会の辞」の勉強をさせていただきました。

もう一つは、我がクラブの定款と細則によれば、クラブ管理運営を担当させていただくことになっておりまして、具体的には、次の6つの委員会がございます。

1. 出席委員会（大澤勇委員長）は、例会に出席することはロータリー活動の出発点と捉えて、本クラブの例会への出席と本クラブの例会に出席できない場合の他のクラブ例会への出席を奨励し出席率を上げる為に尽力して頂きます。
2. 親睦委員会（崎山豊委員長）は、会の運営をスムーズにするために会員間の親睦を図り、趣向を凝らしたクラブづくりを行い、明かく笑顔の多いクラブの親睦活動を委員会一丸となって設営して頂きます。具体的には、例会における受付、ビジター紹介等の業務を担当していただきますとともに、当該委員会は新入会員が入会後初めて配属される委員会として早くクラブに馴染めるよう配慮

し歓迎会等を行うことになっております。

3. 家族委員会（吉田茂委員長）は、親睦委員会と連携を保ち、会員家族間の親睦に努めていただきます。毎年大好評の忘年家族会は、今年は12月19日（火）に開催予定となっております。
4. プログラム委員会（植村孝一委員長）は、本クラブの例会および臨時の会合のためのプログラムを準備し手配していただくことになっております。今年度は会員卓話を中心とすることに決定されておりますので、私も来年4月2日の例会において、「相続登記の申請義務化」の新制度について、卓話をさせていただく予定となっております。
5. 週報委員会（小林一也委員長）は、クラブ週報の刊行によって、関心を促して出席の向上を図り、近づく例会のプログラムを発表し、前回の例会の重要事項を報告し、クラブ、会員、及び世界各地のロータリー・プログラムに関するニュースを伝えるべく努めなければならないこととなっております。
6. 唱歌委員会（植村浩史委員長）は、例会その他ロータリーの諸会合における唱歌を指導し、歌うことによって友愛の高揚をはかり、雰囲気のに融和に努めることになっております。

各委員長さん全員が夫々立派で優秀な方々ですので、連携しながら満足度の高いクラブ管理運営を進めさせていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

今年度は神戸東ロータリークラブの創立70周年記念の年となり、全日本ロータリークラブ親睦合唱祭の主催をしたり、周年事業の開催も予定されております。その中で、会長から私に対し創立70周年事業の記念誌の発刊の部門を担当してほしいとの要請を受けております。

我がクラブは、1954年4月12日に国際ロータリ

ーに承認されてから今年で、創立 70 周年を迎えます。我がクラブは、当初から 5 年ごとに周年事業を開催し記念誌を発刊してまいりました。これが我がクラブの伝統と格式を高めている一つの要因となっています。特に 50 周年記念誌は 300 頁を超える大部のもので、神戸東ロータリークラブのバイブルと位置づけられるものです。今回の 70 周年は人間の年齢で言えば、古希にあたります。高齢社会の現在からすると、70 歳の元気な高齢者はたくさんおられますが、権利能力なき社団であるロータリークラブで 70 周年を迎えるクラブは多くはありません。樋口年度の会長方針は、WORK HARD FOR THE FUTURE「未来に向けてがんばろう」です。従って、70 周年記念誌のコンセプトは、「みんなで 75 周年、

100 周年に向けてがんばろう」ということとなります。

既に、私共で、5 年前の 65 周年記念誌などを参照しながら、編集の中身であるコンテンツ案を作成しております。当該記念誌作成に係る基本的なテーマは、この 4 年間の社会情勢を振り返って、「ロータリーとパンデミック（コロナ禍）」を想定しておりますので、各委員長、出来るだけ多くの会員の方々の記念誌への投稿を期待している処です。さらに、柱として、過去 4 年間の〈須藤会長・吉田茂幹事〉〈鮑会長・樋口幹事〉〈森本会長・工藤幹事〉〈井元会長・鈴木幹事〉にパンデミックを乗り越えた例会運営等について、語っていただきたいと考えております。





幹事
理事 和田 真一

創立70周年という喜ばしい年に幹事を仰せつかりました。和田真一です。入会して今年で6年目になります。知識のない中でその都度、模索しながら最善の道をさぐって準備はしてきたつもりです。怠ったつもりはないですが、本当に1年が始まりました。これから、配慮や準備など、足りないことだらけだと思いますが、ここから先は腹をくくってやってまいります。ご助言、ときにはお叱りいただければ本当に幸いです。会長はじめ各理事・各委員長そして会員の皆様がお力を発揮できるようにしっかりと支えてまいりたいと思います。

本年度創立70周年ということが今年のいちばんだと思います。すべての行事が創立70周年記念ということになります。世の中が、景気が良いのかどうかは不明ですが、なんでも値上げの空気です。今年食事もお弁当を減らしコロナ前の形に完全に戻していく一方で、例会回数を40回と設定いたしました。回数は少しだけ少なくなりますが、毎週の例会や行事は各委員長が充実させていただけると思っています。

ロータリーでは物心両面からさまざまな奉仕活動が行われています。神戸東ロータリクラブの記念誌

を読み返しました。昨年度は個人的にも職業奉仕委員会に所属し地区の職業奉仕セミナーにも参加してきました。本年度の組織をつくるにあたり、すべての委員会が大事ですが、職業奉仕と毎週の例会を担うプログラムだけはしっかりとしたものになければならないと思い準備してまいりました。

そしてなんといっても会員数です。井元年度では10名と近年では突出した入会数となっております。若い方も増えた印象です。私が入会した6年前、平成30年は119名で平均年齢は64歳7か月。その間コロナをはさんで、現在110名、平均年齢は65歳6か月と実に1年1か月平均年齢はあがっています。会員数は、コロナという大きな要因はありますが、9名純減しています。若い方が入ってきても皆さんは毎年1つずつ歳をとっているため平均年齢を下げることはなかなかむずかしい。ただ、逆に言えば1年しか平均年齢があがっていないということは若い方がたくさん入会しているといえると思います。年齢は大した問題ではないですが、平均年齢が右肩あがりにあがっていくとその組織は衰退に向かっていくと言えます。かといって若ければ良いというわけではなく、ロータリーである以上、奉仕の精神と行動力が伴わなければクラブに在籍していても楽しみを見つけれないこととなり退会につながります。当たり前ですが、減らさないことも増員の手段です。そのためには各メンバーが各自で楽しみを見出していただけようサポートができればと思います。会員数の確保はクラブの質の確保につながると 생각합니다。増強委員会だけの問題ではなくクラブ全体で取り組まなければならない問題です。各会員におかれましては可能な限りの協力をお願いします。

伝統と格式の継承という意味では週報や広報は本当に大事だと思っています。在籍年数の比較的短い方々に週報広報誌の製作活動をとおしてクラブを学

んでもらい、親睦家族で楽しく交流して、そして新しい方が新しい方を増やしていただきたいと思えます。

幹事として対外的に他のクラブの方とお話すると、みなさん、神戸東はバランスの取れた良いクラブだとおっしゃいます。そして同好会の数と内容を挙げていくと、みなさんおどろかれます。最近では日本酒や料理など活動していない同好会もあるようです。個人的には歴史の同好会の復活とマラソン同好会などあればいいなと思います。各同好会でも是非、70周年記念と銘打った活動を行っていただき

たいです。

自分が楽しんでやるのが一番だと、みなさんおっしゃってくださいます。今は、とてもそのような心境になれませんが、みなさんが楽しんでもらえるように、地味に私なりに創立70周年をお祝いするサポートをしたいと思えます。人生の中で思い出に残る一年となりますように、全力で一年間、クラブに奉仕してまいります。

重ねて、皆様のご協力、どうぞよろしくお願いたします。





国際ロータリー第 2680 地区
ガバナー 安行 英文

ロータリークラブのみなさまへ

「為説は必ずしも自他に関われず、他のための説着、
即ち自らのための説着」

前略

この度、ガバナーとして、丸尾研一指名委員長によってご指名いただきました、三田 RC の安行と申します。小規模なクラブでの不安、まして、浅学菲才、寡見少聞、区間陬見（くぶんすうけん）、以多問寡、まだまだロータリーの何もわかっていない身ゆえ、皆様にご迷惑をおかけすることが多々あると思います。どうか皆様に善き指導を賜りたく存じます。

さて、冒頭にあげた言葉は、「他人のために説くということは、必ずしも自己と他人との関係の中でなされているのではなく、他のために説くことが、そのままそっくり自己のために説くことにほかならない」という意味です。つまり、自己中心の自分に気づき、そのうえで自己を磨くということなのです。自己を磨くということと自己中心は全く違います。ロータリーに捧げるという決心をした限り、己を磨

き、他のために尽くしきっているかどうか問い続けなければなりません。

これは私の師であった、今井鎮雄先生から 20 代の頃、「身を捧げなさい」と教えられたことに通ずる、私の心の芯となって今も常に自問し続けています。今後大役を受けた限りは、今一度自分に問うて、地区はクラブのためにあるという考えのもと、むしろ自分の生きがいも充足させてもらっているのだという謙虚な姿勢で、2680 地区全クラブの下支えとなるよう今後も望みたいと思っています。

どうか、2680 地区の各クラブ活性化のためご協力いただきますよう、重ねて心からお願い申し上げます。

ゴードン R. マッキナリー国際ロータリー会長は 2023-24 年度会長テーマとして、「Create Hope in the World 世界に希望を生み出そう」を発表しました。この素晴らしい言葉に、今井鎮雄先生が RI 理事だった 1995 年（いろいろな意味で記憶に残る年度であった）、私が今井先生に誘われ YMCA やロータリー会員になった、当時の RI 会長 ハーバード・ブラウンのテーマ、「Act With Integrity Serve With Love Work for Peace 真心の行動、慈愛の奉仕、平和に貢献」を早い段階でテーマにしようと考えていました。

それは、今井元 RI 理事が残した「紛争解決にはライラだよ」と彼が掲げていた理想の中に、いつか紛争解決のプログラムがきっと日本でできると思っていたのですが、よもやゴードン会長の話の中で「平和」について語られたことは縁というものでしょうか。

まごころは、平和への招待状だと思う、世界への、自分への信託だと思います。

RI 会長のテーマを心から歓迎し、まごころを添えて、愛をもって、すべて平和につながるよう取り組んでまいりたいと思います。 草々



職業奉仕委員長
理事 澤田 正樹

今年度、職業奉仕委員長および奉仕プロジェクト委員長を担当させていただきます。

職業奉仕委員長としての方針、考え方を述べさせていただきます。

樋口会長の会長テーマでは、WORK HARD FOR THE FUTURE 未来に向けてがんばろうというスローガンのもと、[職業奉仕を実践し、職業倫理を順守し、良い仕事をして社会に貢献しよう]と強調しています。

これを踏まえ、今年度職業奉仕委員会としては、「職業奉仕理念の再確認と新しい方向性」という仮テーマで活動したいと思います。まだ、委員会を開催して協議していないので「仮」という言葉を入れました。

この委員会には、副委員長に古津さん、委員として、角田先生、友藤さん、三原さん、高嶋さんという重厚な布陣、また、前幹事鈴木祐一さん、そして魚谷さんと気鋭のメンバー構成をいただいています。

こうなったら、やはり70周年に相応しい事業をすることが与えられた使命と思っています。

では、具体的にどうするかということです。

これまで、日本のロータリーでは、「職業奉仕」こそロータリーの根本であり生命線であり、1丁目1番地であると大事にされてきました。日本のロータリーではと限定したのは、国際ロータリー、すなわち世界の多くのロータリーの考え方と若干乖離が見られている為です。この乖離傾向は、国際ロータリーに、1928年にロータリー財団という財務省のような又日本銀行のような財政金融組織が設立され、1966年にエヴァンスRI会長の時、世界社会奉仕活動が提唱され、1978年に「3-Hプログラム」が始まって以後、ロータリー活動は膨大な資金的裏付けを必要とする世界的な社会奉仕団体になる方向に舵切られたと言われています。以来、ロータリーは、RI自身が言っているように「世界に冠たる社会奉仕団体の一つ」として活動しています。このような方向転換の中で、かつて中核的理念であった職業奉仕理念が霞んできました。

では、絶滅危惧種空念仏のようになってしまった感がある、日本で大事にしてきた職業奉仕哲学は忘却の彼方に追いやってしまっていないでしょうか？そうはいきません。単なる社会奉仕団体ではない、職業奉仕があってこそそのロータリー運動であるという根本を知る必要があります。そこで、今年度職業奉仕委員会としては、知らない人には知っていただき、忘れかけている人には思い出していただくために、職業奉仕の根本概念を確認し認識するための事業をしたいと思います。具体的には、戦前の日本のロータリーの考え方を凝縮しているという「大連宣言」を勉強したいと思っています。旧満洲国大連にあった大連ロータリークラブの会員申し合わせ事項として古澤文作会員が作ったとされています。5条からなる宣言で、第一条が「すべからく事業の人たるに先立ちて、道義の人たるべし、けだし事業の経営に全力を傾倒する。よって世を益せんが為なり。故に、吾人は道義を無視していわゆる事業の成功を獲んと



する者にくみせず。」という書き出しで始まるのですが、詳細については、またの機会にお話しさせていただきます。そして、来年1月の職業奉仕月間に、クラブフォーラムの開催や特別卓話、山本康一郎委員長のロータリー情報委員会ともコラボした活動を

行いたいと考えています。

今年度、日本ロータリーが大事にしてきた職業奉仕の考え方に一度立ち戻り、その上で、これからの新しいわかり易い職業奉仕の考え方も模索したいと思います。





社会奉仕委員長
理事 麦 志明

本年度、社会奉仕委員長に就任いたしました麦志明です。

伝統と格式のある本クラブに入会して、未だ3年しか経過しておりませんが、このような大役を仰せつかりまして、身の引き締まる思いではありますが、精いっぱい務めさせていただければと思います。若輩者ですがよろしく願いいたします。

さて、今年度の委員会の基本方針ですが、会長方針の『WORK HARD FOR THE FUTURE 未来に向けてがんばろう』に基づき、地域の支援学校・養護学校への支援事業・兵庫県内の外国人学校に通う学生同士の文化的交流への支援を通じて、地域社会におけるマイノリティーに対する認知度、相互の理解及び活躍の機会の向上に貢献し、ロータリーの中核的価値観である多様性への理解を促進してまいりたいと考えております。

具体的活動内容としては、例年通りの、①神戸市立青陽東養護学校生の招待ボウリング大会、②神戸市立友生支援学校生の招待ボウリング大会、③プロバスクラブ活動支援、④NPO法人クルーズ支援、に加え、必要に応じて、兵庫県内の外国人学校生徒の交流に対する支援を行ってまいります。

また、本年度は、本クラブが創立70周年を迎えますので、上記の活動に加え、同記念式典・記念事業にも積極的に参画してまいりたいと考えております。まずは、本年7月29日の親睦合唱祭に向けて、小職も午前中の予定を調整し、お手伝いできるようにさせていただきましたので、皆様におかれましても、ぜひご参加いただければと考えております。

昨年度開催させていただきました兵庫県外国人学校交流会（音楽会）につきましては、ご観覧いただきました他のクラブの関係者の方々からも大変な高評価をいただいていたのですが、外国人学校協議会の準備やホールの準備の関係から、残念ながら今年度は開催しない運びになりました。次年度以降の開催に向けて、引き続き外国人学校協議会側と打ち合わせを進めてまいりたいと思います。

また、次年度以降の計画にはなりますが、須磨海浜水族園がリニューアルするということで、須磨海岸の清掃プロジェクト等も検討したいと考えております。本年度会長はローターアクトクラブ出身でいらっしゃるとお伺いしておりますので、青少年奉仕委員会、ローターアクトクラブとも共同してこのような事業を計画できればと思います。

冒頭にて申し上げました通り、本クラブに入会して3年しか経過しておりませんので、まだまだ分からないことも多く、皆様からご指導いただきながらになりますが、何とか今年度の職務を全うしたいと考えておりますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

少々短いですが、以上、小職のご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。



国際奉仕委員長
理事 中井 章詞

2023-2024 年度国際奉仕委員長を仰せつかりました中井章詞でございます。

今年度は、当クラブ創立 70 周年の記念すべき年度に当たり国際奉仕委員会のすべての事業に創立 70 周年記念の冠をつけることになりました。

基本方針は、本年度会長テーマである「WORK HARD FOR THE FUTURE : 未来に向けてがんばろう」に沿って、当委員会は、クラブ会員が国際奉仕に関する事柄において、その諸責務を遂行する上に 役立つ指導と援助を与えるような方策を考案し、実施するものとします。

今年度の国際奉仕委員会は、以下の 6 名で構成されます。(順不同・敬称略)

- 委員長：中井 章詞
- 副委員長：後藤 章暢
- 委員：香山 道宣
- 委員：宮 昭久
- 委員：上月 福男
- 委員：松谷 齊泰

具体的活動内容としては、

1. 地区補助金による VTT

2023 年 9 月 23 日(土・祝)～同年 9 月 28 日(木)、ホノルル・オアフ島・ハワイ州に於いて、地区補助金による VTT「ホスピスボランティアハワイ研修プロジェクト」を実施致します。

概要は、近年、医療の主座は在宅医療へ移行し「最期まで人間らしくありたい」と終末期を自宅で過ごす方が増加し、ホスピスボランティア (HV) 団体の活躍が重要視されていますが、日本では、終末期に係る (HV) の、人材の育成が欧米に比べて不十分であるのが現状です。そこで、本プロジェクトは、(HV) の資質・能力向上の為、日本の (HV) を、ホスピス先進国のアメリカの中でも、比較的日本語の通じるハワイに送り、実地研修と座学から成る実践的研修を行い、参加する (HV) の知見を深め、それらを国内で発信することで、日本の (HV) 全体の資質向上に繋がります。

2. シンガポール国際大会参加ツアー企画

2024 年度の国際大会が、当クラブの姉妹クラブのあるシンガポールで、2024 年 5 月 25 日～ 29 日に開催される為、その交流発展と国際大会への参加に向け企画を行います。

3. 地区奨学金タイプ 2 奨学生支援

清原 萌歌 (きよはら もえか) さんを支援します。

地区奨学金タイプ 2 は、国外の大学、大学院等で修学する為の奨学金で、6 か月以上 1 年間以内の期間で、9,000 米ドルまで出ますが、20%のクラブ負担があります。

清原さんは、気候研究に秀でたイーストアングリア大学 (英国) の大学院で、気候変動による生物や先住民への影響について、異文化コミュニケーション

ン（翻訳）を介して社会的弱者の現状を研究紹介したいとの熱意をもって留学されます。

4. 姉妹クラブとの関係維持、交流を検討

現在、当クラブは下記2クラブと姉妹関係を結んでいます。

シンガポール ロータリークラブ

シンガポール D-3310 1981年～

ブリスベン ロータリークラブ

オーストラリア D-9600 2008年～

創立70周年記念の年度に当たり、皆様ご多忙とは存じますが、なにとぞ、当委員会事業にご理解とご協力賜りますようお願い申し上げます。





青少年奉仕委員長
理事 高橋 恵信

本年度、青少年奉仕委員長を仰せつかりました、高橋恵信です。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

当委員会に置かましても、樋口会長の年度方針

【WORK HARD FOR THE FUTURE 未来に向けてがんばろう】に沿った活動をしてまいりたいと思います。

青少年奉仕と言いましても、あまり青少年との接点がないのがつらいところです。

現在メインで後援活動をしているのは、「Kobeっこ親善ラグビー大会」です。参加人数は約500名、保護者などを加えますと約1000名の大規模な大会です。

これは認定こども園・保育園児のラグビー交流活動であり、各施設間の交流をはかり、園児の心と身体の成長と仲間意識の向上、そして助け合いの心を育む活動であり、神戸東ロータリークラブが取り組んでいる社会奉仕活動援助の一助となると考えております。

4歳児、5歳児といった保育園児の行事の後援を大々的に行っているのは、まあ青少年とは言えませんが、素晴らしい奉仕活動だと思っています。

今日は昨年の大会の様子がテレビニュースで放映されましたので2分間だけその映像を見て頂けませんか。(映像)

何ともかわいらしい、保育園児のラグビー、今年11月20日の(月)10時から、しあわせの村、芝生の広場で開催いたします。是非皆さんで応援に来ていただきたいと思います。

後援は神戸東ロータリークラブとして執り行うわけですが、会員皆様の個人的な協賛広告も募集いたします。あらためてご案内を申し上げますので是非ご協力を宜しくお願い致します。

そしてその他には、インターアクトクラブ、ロータリーアクトクラブのあり方を考えていきたいと思っております。

まあインターアクトクラブは中高生が中心で、何か活動をするにしても、学校の先生やPTAなどに相談をしなければならないと聞いておりますので、少しやりにくいなあと感じています。

その点、ロータリーアクトは大学生以上が対象となりますので、ある程度任せておくことが出来ますし、先週、樋口会長がおっしゃっていた通り、いろんな大学からメンバーをつどい、非常に楽しい経験の中から、素晴らしい人材が誕生するのではと考えております。

私も30数年前、神戸東ロータリーアクトクラブに在籍しておりました。十数名の会員で、甲南大学、甲南女子大学の学生がほとんどでしたが、関西学院大や、親和女子大、関西医科大、社会人も在籍しておりました。

ロータリーアクトと言えば、メンバー間の交流に重きを置いていましたが、月に1~2回例会を開催し、会長・幹事を中心に活動を考えたり、ロータリークラブの活動である支援学校ボウリングのお手伝いや例会への出席、その他色々ありました。

ロータリアンの方々に同行して頂きましたが、フ

イリピンはマニラのマカティ・ウェストローターアクトクラブとの姉妹提携をするために現地まで行ったことも大変印象的でした。

高嶋さん、マック植村さんはじめ、たくさんのロータリアンに、随分しぼられました。楽しいことも過分に経験させていただきました。本当に楽しいでした。

そのような経験があったおかげでしょうか、未来に向けてがんばるローターアクトのあり方について社会奉仕委員会とタッグを組んで他クラブの調査、考察に取り組んでいきたいと思っています。

本年度、青少年奉仕委員会をどうぞよろしくお願いいたします。

有難うございました。





第 26 回全日本 RC 親睦合唱祭報告



神戸東ロータリークラブ創立 70 周年記念事業第一弾として 7 月 29 日（土）に第 26 回全日本 RC 親睦合唱祭を開催しました。ポートピアホールを舞台に全国各地から 25 のクラブ、373 名のコーラス愛好者が集まり、普段の練習の成果を存分に発揮すべく合唱が行われました。我が『神戸東ロータリークラブ合唱団』もオープニングの「奉仕の理想」から本番の「さくら」、「ふれあい」まで普段以上の実力を発揮し、トップバッターとしての重責を見事果たしておりました。

その後、会場を神戸ポートピアホテル「大輪田の間」に移し、応援団を加えた 430 名の大懇親会を

行いました。参加されたメンバーもこの懇親会を楽しみにしており、本番だけでは歌い足りないのか各クラブがステージに上がって各地の持ち歌を披露するときは、他のクラブの会員も一緒に登壇し、大合唱になりました。

参加された各クラブの皆さんも満足して帰っていただけたと思います。

また、司会進行から誘導までご協力いただいた会員の皆さんに感謝申し上げます。

（創立 70 周年実行委員会

親睦合唱祭部会長 横山 幹夫）





2022-23 年度 国際ロータリー第 2680 地区

青少年長期交換派遣生 永原 麗雅

「イタリア留学の報告と御礼」

こんにちは私は 2022 - 2023 年度 2680 地区よりイタリアミラノの 2041 地区に一年間、派遣させていただいた永原麗雅です。

7月4日に日本に帰国いたしましたので報告させていただきます。

イタリアに到着して2~3か月は学校の準備やこの海外滞在のための書類などいろいろしなければならぬことが重なり、あまり海外にいるという実感が湧いていないような状態でした。しかし、3か月を超えたあたりで友達が出来、電車など交通機関にも慣れ始めたころ、日本とイタリアの違いが見えてくるようになりました。例えばいいところ言えば、街の中に数多くの遺跡や美術館がミラノにはあります。また、イタリアの人々は皆さんとても親切で道に迷うこと、困ったことがあると助けてくださいます。また、少し違和感を感じたところは学校の友達は未成年であるのに煙草やお酒を飲むのが普通であるということや、そのことに関して親の方や、一度、大学で法律を教えている方と話す機会があったのですが、その方でさえも「コップ一杯までなら

別に」とおっしゃっていたことです。また、少し嫌だと感じたのは、休み時間になると男女の生徒が男子トイレを喫煙所代わりに使っていて便器は灰皿代わりになっており、トイレに行くのに不便だったことです。これらのことに気付いたあたりからイタリアでの人とのかかわり方がわかってくるようになり、飲酒や喫煙を行わない友達をほかのクラスなども含め探し、よくお昼を食べに行ったり、ボウリングをしに行ったりするようになりました。その中でも同じ学校に通っていた、3人のインドネシア、アメリカ、ウクライナの留学生とは特に仲が良かったです。

また、学校関係や習い事ですが、月曜日から土曜日まで6時間の建築、デッサン、彫刻の三つをメインに授業を受けていました。また、学校の授業の後に、月火水はイタリア語の講座を受けていました。習い事では「ミラノアトレティカ」というスポーツクラブでランニングを主に陸上競技を習っていました。

続いて印象深かった訪れたところをあげさせていただきます。

まず、一つ目はドゥオーモですこれはミラノで最も大きなカトリックの教会です。イタリアに到着して最初に見た歴史的な建造物だったというのもあり、その大きさと美しさに感動したのを覚えています。

次に、二つ目はロータリー主催のローマ旅行に参加した際に見たバチカン市国のサンピエトロ大聖堂です。ここには旅行の最初に行きました。イタリアに来る前から写真などは見ており、ここは行ってみたいと思っていた一つでした。そして、実際にその目で見てみると想像の三倍大きく喜びよりも先に驚きと興奮を感じました。内部もまた、隅々まで装飾されており、美しい建物でした。

そして、三つ目はベネチアです。ベネチアはたく

さんの島で構成された都市で交通手段は基本的に船です。そのため、街は非日常的でとても面白かったです。何よりも景色が綺麗で、行った際には終始見惚れていました。一つだけ困ったのは、街が迷路のようになっており、細い道に入るとすぐに迷子になってしまったことです。

最後に四つ目はイタリア国立二一世紀美術館です。この建物は、有名な建築家である「ザハ・ハディッド」によって建てられたもので、自分の目で見る事が出来て嬉しかったです。また、美術館の内部も海外のさまざまな有名な建物や構造を絵や模型を使って展示されていて、とても楽しく、興奮した

のを覚えています。

改めまして、今回のような違う価値観を持っている人が住み、衣、食、住文化も違う土地で日本語ではない言語で話すことや、その人々と暮らすという経験はしたくても経験することが難しく、いくつになっても役に立つ素晴らしい経験だったと感じています。これらの経験はロータリークラブの皆様の厚いサポートや支援があって経験できたものです。

本当にありがとうございました。

これからは ROTEX として頑張っていきます。本当にありがとうございました。





小山 要次

—キリンビール神戸支社—

2023年1月17日に神戸東ロータリークラブに入会させていただいた小山要次です。

自己紹介の時間をいただき感謝しております。本日は、①プロフィール②業務について③趣味についてお話しします。

最初に私のプロフィールです。1968年3月13日生で今年55歳になります。東京の下町月島の出身です。近隣には旧築地市場や開閉式の橋梁として有名な勝鬨橋があります。もんじゃ焼きの発祥の地としても全国的に知られております。家族は妻、長男、長女の4人です。神戸市西区西神南に自宅があります

1986年東京都立忍岡高校（台東区浅草）を卒業、1991年法政大学法学部卒業、1991年キリン・シーグラム社入社、2000年キリンビール社転籍、2001年結婚（妻は明石市出身）、2017年神戸支店長就任、2022年神戸支社長就任、2025年3月定年退職予定しています。

私が入社しましたキリン・シーグラム社について説明します。1972年にキリンビール洋酒部門として設立されました。米国の「シーグラム社」と英国「シーバス社」日本「キリンビール社」との3社の

合弁会社です。静岡県御殿場市に蒸留所があります。この蒸留所は世界的にも珍しいモルトウイスキーとグリーンウイスキーを同一蒸留所で製造しています。

代表的なウイスキーとして、ロバートブラウン・エンブレムといった商品があります。

また私の転勤歴です。社内では珍しく32年間のサラリーマン人生において4回と少なく、横浜8年間⇒神戸7年間⇒大阪6年間⇒東京5年間⇒神戸8年間となり、関西にて累計21年間の長期間勤務をしました。

現在の業務について説明します。まずはキリンビール社の売上構成比です。量販店（スーパー、コンビニ等）で販売される缶製品の売上が全体の75%を占めます。一方、飲食店（居酒屋、ホテル、レストラン等）で販売される売上が残りの25%を占める形態となっております。私は入社以来、飲食店（外食産業）への営業活動を一貫してやってきました。この期間中、色々な経営者のかたと一緒に仕事をしてきました。これはひじょうに貴重な体験となり、私のセカンドキャリアに大きく影響を与えました。

最後に、私の趣味についてお話しします。私の趣味には相当額の費用がかかるものです。車やバイク、時計等の形に残るものではありません。海外旅行です。今回ご紹介するのは二つあり「海外ゴルフ」と「海外野球観戦」です。

海外ゴルフは2017年に渡航したスコットランドです。4か所の希少なコースでプレーしました。なかでもスコットランド北部にある「ミュワフィールドゴルフコース」でのプレーは印象的でした。ここは完全なメンバー制を貫くコースで数年前まで女性のプレーを禁じていたほどです。2022年の全英女子オープンの開催コースにもなりました。現地特有のリンクスコースで日本の綺麗なコースとは違い、草原の中にコースがあるといった風情です。またス

コットランドといえばウイスキーです。ジョニーウォーカーのモルト原酒を製造する「カーデュ蒸留所」への訪問も印象に残る経験でした。

海外野球はメジャーリーグ観戦です。全米には全部で30球団あり30場のスタジアムがあります。私はこれまで10場のスタジアムで観戦しています。

そもそも幼い頃からアメリカという巨大な国への憧れは強くあり、これまで数度となく渡米しています。残りの人生で全米30場制覇を目標にこの趣味を継続していくつもりです。これで小山の自己紹介を終了させていただきます。ご清聴ありがとうございました。





延原 耕三

本年、5月9日、田中健三様、山本裕計様のご推薦により、クラブの一員に加えていただきました、延原耕三でございます。

さて、あらためて、『新会員自己紹介』を申し上げます。

昭和29年、1954年9月21日に、大阪市中央区谷町5丁目にて誕生した68歳です。小学校3年生のころ、谷町筋の拡幅により住まいを「道路敷」に提供することとなり、家族とともに千里ニュータウンに転居いたしました。そこで、津雲台小、高野台中、そして豊中高校と公立学校を卒業しまして、大学は私立の慶應義塾に進ませてもらいました。

現在は、灘区鶴甲、神戸大学のキャンパスが点在する街に自宅がございます。

家内は神戸育ちで、小学校から《海星女子学院》にお世話になり、大学は甲南女子大学に進みました。ロータリーの活動には無関心でしたが、神戸東ロータリークラブ入会後は、ある会員の奥様と幼なじみで、いまは『むつみ会』の活動にも関心を寄せております。

わたしが公立学校から受験戦争に苦しみ暗い青春を送ったものですから、二人の息子たちには中学受験をさせ、関西学院大学まで青春を満喫させること

ができました。二人はそれぞれ卓球部、アメリカンフットボール部を卒業し、いまはサラリーマンで、家庭を持ち、三人の孫にも恵まれました。

卒業後就職した《野村不動産》を9年前60歳で定年退職。61歳のころ、調剤薬局向けソフトを手掛ける《EMシステムズ》（東証プライム4820）の社外監査役に、63歳のころ、シニア向け分譲マンション『中楽坊』を展開する《ハynesコーポレーション》の財務部長（のちに監査役）に誘われました。いずれも、それぞれのオーナー社長と次にご紹介する宝塚ゴルフ倶楽部へ同期入会したご縁でお誘いを受けました。

さて、その宝塚ゴルフ倶楽部でございます。

腕はいたって振るわないのですが、毎週のように19番ホールを含め売上げに貢献しているからだと思いますが、競技委員、エチケット委員、評議員に続き、6年前、フェロウシップ・エチケット委員長を拝命、12名おります理事の一員に任ぜられました。

代表的な議題はもっぱらドレスコードに関するもので、帽子にせよハイソックスにせよ、熱中症予防のためであり、万一、ボールが当たった時のけがを少しでも和らげることが目的ですし、ハイソックスには加えて虫刺されや、OBゾーンの笹・雑草から肌を守る効果も期待でき、このドレスコードはいまも宝塚のみなさんにはお守りいただいております。しかしここ数年は、やや空気が変わり関西四クラブでも廣野さん鳴尾さんはハイソックスについては緩和しておられます。関東七倶楽部さんも昨年からは揃って緩和しておられます。したがって、ハイソックスを固守しているゴルフ倶楽部は日本で、いまや茨木さん、そして宝塚の二倶楽部だけのようです。

その後、2年間でフェロウシップ・エチケット委員長を退任し、四年前に選任されました公益委員長も、本年、6月に任期満了、ボランティア活動を無

事終わることができました。

いよいよ仕事が無くなるタイミングで『職業奉仕』を掲げるロータリークラブへ再入会させていただき、引き続きその精神を学ばせていただくことがで

きそうです。

どうぞよろしくご指導のほどお願い申し上げます。『新会員自己紹介』とさせていただきます。

ご清聴、まことにありがとうございました。





第一回会員親睦会においておいしい中華料理を堪能しました —神戸メリケンパークオリエンタルホテル「桃花春」にて—



8月29日に神戸メリケンパークオリエンタルホテル最上階の中国料理「桃花春」において、第1回会員親睦会を51名のご参加で開催いたしました。

樋口会長のご挨拶と角田会員による乾杯のご挨拶から賑やかに会はスタートしました。窓の外には、神戸の港と船、改修工事中のポートタワー、六甲の山並みに沈む夕日を眺めて、中国料理のフルコースを堪能。また、今井商店セレクトの美味しいワインが、振る舞われました。

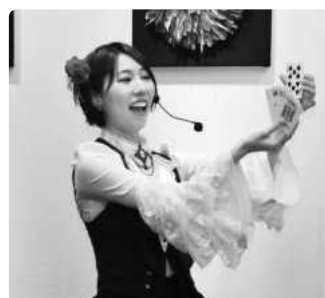
宴も中盤に差し掛かって、マジシャン Ayana さんのマジックショーが始まり、今年の新作マジック

を含め臨場感溢れるマジックを堪能しました。

その後、今年入会された新入会員にご挨拶をいただきました。また、神戸東ロータリークラブが誇る様々な同好会の皆様に同好会の活動の報告、今後の予定などを発表いただきながら、大いに盛り上がっていただきました。

最後に、70週年の横断幕とともに集合写真を撮影。第1回の会員親睦会が皆様のご協力のもと無事に終えることができたことに感謝申し上げます。

(親睦委員長 崎山 豊)





▲ 7月 25日 「危機に立つ世界と日本」
名誉会員 五百旗頭 真 氏



▲ 8月 29日 「これからの幹事へ」
工藤 恭孝 会員
鈴木 祐一 会員



▲ 8月 22日 「ホスピスボランティア ハワイ研修プロジェクト」
国際奉仕委員会 委員長 中井 章 詞
国際奉仕委員会 副委員長 後藤 章 暢
公益財団法人 神戸国際医療交流財団
事務局長 谷村 俊之 氏
神戸つむぎの会 松井 由子 氏
神戸つむぎの会 山口 妙子 氏



余韻会 (俳句同好会)

令和五年七月四日

ホテルオークラ神戸 桜の間

ファンファーレ高らかにありダービー戦

奥田 好子

神前の掛け声きびし競べ馬

角田 伯堂

いただきます感謝の先の田植なり

塚本 宗哲

勝馬は騎手と一体駆け抜ける

吉井 聖倅

ゲート開き笑ひ誘ふ草競馬

神田 淡京

競べ馬黙つてをれぬ当り券

小林 一也

余韻会 (俳句同好会)

令和五年八月一日

ホテルオークラ神戸 桜の間

湯上がりの風のシャンプー汗解く

奥田 好子

朝霧の中より出づる廃校舎

角田 伯堂

玉の汗吹き出て思考止まりをり

塚本 宗哲

汗かいてラジオ体操清々し

松谷 泰山

汗光る誘導員の黒い腕

吉井 聖倅

発車ベル全力疾走ぬぐふ汗

神田 淡京

試運転波ひとつ無き夏の海

小林 一也



絵と文 鈴木 祐一

「なすび」

毎年4月の東彩会展覧会に出す絵が大変気になりました日曜日にちょうどなすびがありましたので、菜と合わせてスケッチしました。描き始めると楽しく集中して完成させてました。如何でしょうか。

CONTENTS

会長就任挨拶	1
副会長就任挨拶	3
幹事就任挨拶	5
ガバナー公式訪問	7
四大奉仕委員長就任挨拶	8
第26回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭報告	15
青少年長期交換派遣生報告	17
新会員自己紹介	19
第一回会員親睦会	23
例会スナップ	25
余韻会	26

編集後記

2023-2024年度の第1号の会報をお届けしました。
今年度は神戸東ロータリークラブ創立70周年の年です。
樋口会長をはじめとする理事および役員の方々の就任挨拶にもあるように、たくさんの70周年を記念する事業が予定されています。

7月には第26回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭が開催され、全国のロータリアンの笑顔が神戸に溢れていました。昨年はコロナで直前中止となった8月の第1回会員親睦会も今年は開催され、大いに盛り上がりました。

70周年の記念すべき1年、みんなでお祝いしたいですね。
原稿の依頼等、ご協力して下さった皆様に感謝申し上げます。

広報委員長 村井 通浩